



学校だより第5号

令和7年8月26日

発行

大阪市立大開小学校

平和について

長いようで短かった夏休みが終わりました。子どもたちは、きっと普段できない様々な経験をしてきたことだと思います。一步成長した元気な姿を見ることができ、大変嬉しく感じています。

今年、私たちは戦後80年という節目の年を迎えていました。戦争を知らない子どもたち（大人も含め）にとっては、それは遠い「昔の出来事」かもしれません。しかし、80年前、日本は大きな戦争を経験し、多くの人々が悲しみや苦しみを味わいました。その記憶は決して忘れてはならないものですし、今も世界では戦争が起きています。他人事ではないということを、難しいですが子どもたちには自分事として考えてほしいと思います。

私は母から、戦争のときは小学生で、空襲で怖い思いをした話や食べ物がなくて大変だった話を聞いたことがあります。また、広島に行った際、語り部さんから原爆が落ちた日のことやそれ以降のご苦労を伺ったことがあります。学校では、国語の教科書に「一つの花」等の戦争を描いた教材があり、社会科の歴史の学習では戦争についての記述があります。子どもたちは様々な場面で戦争について、平和について学んでいます。

自分が、もしもこの時代に生きていたらどうしていただろう。日常の穏やかな生活が一変してしまう戦争はすべきではないと誰もが考えているのに、今も世の中から戦争がなくなっていないのはどうしてなのだろう。想像し、様々な人の気持ちに寄り添って、一生懸命に自分事として考えてほしい・・・と思っています。戦後80年の節目を迎える今、ご家庭でも、家族と命、平和について考えていただければと思います。

2学期は、運動会、修学旅行、自然体験学習、全校遠足等、大きな学校行事がたくさんあります。2学期も子どもたちとともに、たくさんのこと学んでいきたいと思います。保護者の皆様におかれましても1学期と同様、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

※夏休みに「渋沢史料館」へ行ってきました。

6月に本校で「渋沢栄一肖像画里帰り展」を開催いたしましたが、その後、東京都北区にある渋沢史料館でも展示されましたので観てきました。

